

## オーディオ実験室収載

### STAGE+を楽しむ(284)(HP 収載) —アリス=紗良・オットのピアノリサイタル—

#### 1. 始めに

前報(283)に引き続き、STAGE+のアリス=紗良・オットのピアノリサイタルの演奏の試聴を実施します。

#### 2. 試聴音源

今回は、STAGE+のアリス=紗良・オットのピアノリサイタルの演奏を選びました。

アリス=紗良・オットのピアノリサイタル「ナイトフォール」

DR コンサートホール

アリス=紗良・オットがコペンハーゲンの DR コンサートホールで行ったリサイタル。タイトルの「ナイトフォール」は同年にリリースしたフランスのピアノ名曲集のCDの名を冠したものです。そのレパートリーからドビュッシーの《ベルガマスク組曲》の抜粋に《夢想》、サティの《3つのジムノペディ》第1番や《グノシエンヌ》第1番と第3番が披露されました。さらにショパンの夜想曲から第1番と第2番、そしてバラード第1番が奏でられ、様々な夜の世界を演出。R.シュトラウスの歌曲《明日！》のピアノソロ版で美しく幕を閉じます。

ソリスト：

アリス=紗良・オット (ピアノ)

曲目

クロード・ドビュッシー 《ベルガマスク組曲》 CD 82 (L. 75)

クロード・ドビュッシー 《夢想》 L. 68

エリック・サティ 《グノシエンヌ》 第1番

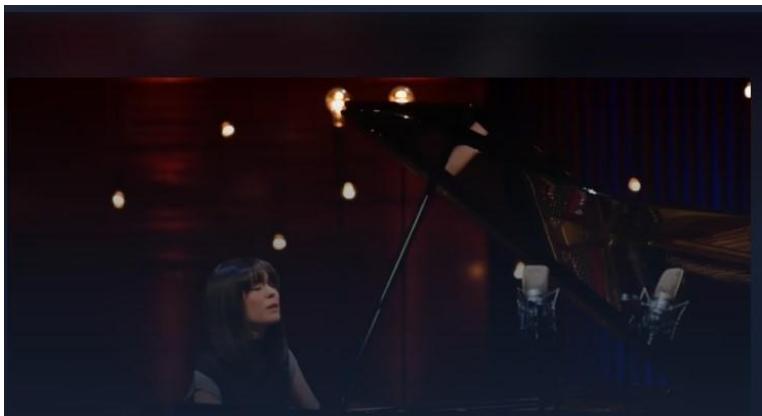
エリック・サティ 《3つのジムノペディ》

エリック・サティ 《グノシエンヌ》 第3番

フレデリック・ショパン 夜想曲 op. 9 第1番・第2番

フレデリック・ショパン バラード第1番ト短調 op. 23

リヒャルト・シュトラウス 4つの歌曲 op. 27-4 《明日！》 (ピアノソロ編曲版)



### 3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結しています。また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

さらに今回から、スイッチングハブ→PC 間 LAN 接続には OPT ISO BOX に代って適用した LAN iPurifier Pro の電源を iPower2 に交換しています。

今回は、PC の受信から GPS-777 クロック入力の SWD-DA20 に送り出しています。

Night Fall、たそがれというテーマのとおり、しづかに夜を迎えるような曲ばかりを集めたリサイタルの収録です。

ドビュッシーの《ベルガマスク組曲》は、初めて聴くものです。

ドビュッシーの《夢想》は、お馴染みの曲です。

これらドビュッシーの 2 曲は、ドビュッシーらしい詩情をアリス=紗良・オットのピアノが描きます。

サティの《グノシエンヌ》第 1 番は、初めて聴くものです。

サティの《3 つのジムノペディ》は、聴いたような記憶があります。

サティのもう一つの《グノシエンヌ》第 3 番は、これも初めて聴くものです。

これらサティの 3 曲は、サティらしいエスプリを始めた曲で静かに奏でられています。

ショパンの夜想曲 op. 9 とバラード第 1 番は、ともにお馴染みの曲で、これらショパンの曲は、アリス=紗良・オットが女性奏者らしい感性で美しく歌っていきます。

リヒヤルト・シュトラウスの 4 つの歌曲《明日！》は、明日を夢見て眠りにつくような静かな曲で、リヒヤルト・シュトラウスがこのような美しい小品を作っているとは

意外でした。



#### 4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用した結果、ドビッサー、サティ、ショパン、リヒヤルト・シュトラウスのそれぞれの詩情をリス=紗良・オットが描いています。

以上